



かしわの木

学校便り

令和2年7月
東村山市立東村山第五中学校

正しさと優しさ

校長 安藤 環

連日、報道されているとおり、大雨や洪水などにより甚大な被害が発生しています。新型コロナウイルスの感染拡大で心が落ち着かない中、このような大規模な自然災害の光景を見るにつけ、胸が締めつけられるような思いをされている方も多いことと思います。このたびの自然災害により、被害を受けられた皆様には謹んでお見舞いを申し上げます。また、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

さて、本校ではおかげさまをもちまして、6月15日よりクラス全員がそろった形で授業を再開できるようになりました。とはいっても、新型コロナウイルスの感染が完全に終息したわけではありません。生徒にはマスクを着用したり、こまめに手を洗ったり、3密を避けるため、人との間隔を保つなど、五中としての新しい生活様式で生活するよう指導しております。最近では、東京都内でも感染者が増えつつあり、第2波の襲来が懸念されております。ご家庭におかれましても、お体を大切にいただき、登校時の検温にご協力いただくとともに、感染の防止に努めていただけますようお願い申し上げます。

先日、ある映画のセリフが心に残りました。

正しさと正しさは戦争のようにぶつかり合うことがあるが、
優しさと優しさは決してぶつかり合うことはない。

むしろ、優しさと優しさが会えると、
もっと大きな優しさとなる。

とても素晴らしいセリフでした。

私たちは日ごろ、自分の考えだけにとらわれて意見をしてしまうことも少なくありません。しかし、人の考えはそれぞれです。自分がいくら正しいと思っていても、客観的に考えてみると、そうではないことも多々あるものです。無論、法に触れたり、社会のルールに従わないことは論外でしょう。でも、そうやって、お互いが正しいと思っていることを主張し合えば、喧嘩にもなってしまいます。また、国と国が正しいと思っていることを主張し合えば、戦争にまで発展してしまうこともあるかもしれません。

それに対して、優しい気持ちや行動はぶつかり合うことはないのでしょうか。お互いが優しい気持ちで接すれば、優しさの輪が広がり、深く信頼し合ったり、豊かな人間関係を築いたりすることができるのだと思いました。

このところの大きな災害や新型コロナウイルスに対する不安のために、なんとなく沈んだ気持ちになってしまう中で、このセリフはとても輝いていました。こんな状況だからこそ、子供たちにも優しい気持ちを大切にして、学校で友達と一緒にいると、何となく安心できる。そんな居心地の良いクラスや学年、学校にしてほしいと思います。

土曜授業における学校公開について

土曜授業における学校公開を保護者や地域住民の皆様が開かれた学校づくりを進める観点から、例年学校公開を実施しておりましたが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、土曜日に授業を行う場合の学校公開は市内小中学校において行わないこととなりました。ご理解賜りますようお願いいたします。